

# 染色物摩擦堅ろう度試験機

＝適応規格＝ J I S L 0 8 4 9, L 0 8 6 2, L 1 0 1 8, L 1 0 4 1  
L 1 0 8 4, K 6 7 7 2, P 8 1 3 6

＝適応範囲＝ 本機は日本学術振興会、第12委員会に於いて考案されたもので、従来より学振（日本学術振興会の略）型染色物摩擦堅ろう度試験機と呼ばれ、ご活用頂いているものです。主用途としては染色した繊維品の摩擦に対する染色堅ろう度試験に用いるもので、試験片と摩擦白綿布とを互いに摩擦し、摩擦白綿布の着色の程度を汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定します。その他、紙、レザー、フィルム、不織布等にも幅広く御利用頂いております。本機はJ I S L 0 8 4 9 [摩擦に対する染色堅ろう度試験]に規定されている摩擦試験機Ⅱ型に適応するもので、国内・国外を通じ広く一般にご使用して頂いております。

＝構 造＝ 本機は、電動機によって水平に往復運動する金属製の表面半径20cmの湾曲板形試験台と軸を中心に自由に回転できる6本の腕にささえられた摩擦子（表面半径45mm）からなっています。摩擦台は毎分30往復の速度で12cmの間を水平に往復運動でき、摩擦子が10cmの間で往復できる構造となっています。摩擦子は重さ200gとし、別に補助荷重として300gのものが、各々6個付属しています。尚、本機には自動停止装置が付属し、規定試験回数終了時に自動的に駆動停止する機構となっています。

＝仕 様＝ 型 式：学振型  
試 料 掛 数：6本掛  
試 験 台：金属製湾曲版、表面半径20cm  
摩擦子水平往復距離：100mm  
摩擦子往復運動：30回/分  
摩擦子重量：200g  
補助荷重：300g  
カウンタ－：デジタル・カウンター 5桁  
電 源：100V or 220V 50/60Hz  
寸 法：400(W)×500(D)×250(H)mm  
重 量：35kg  
標準付属品：摩擦子（200g） 6個  
補助荷重（300g） 6個



\*改良の為、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。